

品川区議会だより



第295号

令和4年(2022年)12月21日発行

発行/品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町二丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会ホームページ <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



都立大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森(八潮四丁目2番)

令和4年第3回定例会

- 品川区のこのようなことが決まりました 2～3
- 議案・決算の議決結果 4～5
- 請願・陳情の審査結果 6～7
- 趣旨採択した陳情に対する区への対応について 7
- 新しい議員が加わりました 8
- 本会議・委員会の日程(予定) 8
- 区政をきく(一般質問) 9～14
- お金の使いみちを審査しました(決算審査のあらまし) 15
- 決算に対する各会派の意見表明 16～17
- 常任委員会の活動・特別委員会の活動 18～19
- 品川女子学院意見交換会・伊藤学園職場体験 20

表紙の写真について

表紙に掲載の写真は、ご応募いただいた中から選ばれました。

(ご本人の希望により匿名)

品川区議会では、引き続き品川区議会だよりの表紙等に掲載する写真を募集しています。

詳しくは、品川区議会ホームページをご覧ください。事務局調査係までお問い合わせください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。
ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。



物価高騰等に伴う生活支援や感染拡大防止などのための 補正予算を可決しました

第69号議案 令和4年度品川区一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出とも45億4,940万9千円を追加し、総額を1,967億65万1千円とするものです。主な事業をご紹介します。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急 支援給付金を支給します

【補正額】21億2,000万円

住民税非課税世帯や家計急変世帯で、申請のあった世帯に対し、給付金(5万円)を支給します。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立 支援金の申請期限を12月末まで延長します

【補正額】4,783万円

延長期間の対象者には、10月~12月の間に個別案内をお送りし、申請受付・審査・支給を行います。

▲ 手続等について、詳しくは品川区ホームページ等をご確認ください ▲

高齢者等を対象に、インフルエンザ定期予防 接種費用の自己負担分への助成を行います

【補正額】1億4,350万円

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念される中、重症化リスクの高い高齢者等に対する早期のインフルエンザ定期予防接種を促すため、定期予防接種費用の自己負担分を無料とします。

実施期間は令和4年10月1日から令和5年1月31日までです。

対象者には、区から9月27日に「品川区 高齢者インフルエンザ予防接種予診票」をお送りしています。

詳しくは品川区ホームページ等をご覧ください。



新型コロナウイルスワクチン追加接種 (オミクロン株対応ワクチン接種)を進めます

【補正額】5億3,508万円

新型コロナウイルスワクチン接種1・2回目を完了した12歳以上の区民を対象に、オミクロン株対応ワクチン接種を速やかに実施します。

※新型コロナウイルスワクチン接種について、最新の情報は新型コロナウイルスワクチン接種ポータルページ等をご覧ください

新型コロナウイルス
ワクチン接種ポータル
ページはこちら



知的障害者グループホーム「品川区立 出石つばさの家」を開設します

第83号議案 品川区立知的障害者グループホーム条例の一部を改正する条例

西大井三丁目に取得した用地(旧国家公務員宿舎跡地)を活用し、新たに知的障害者グループホームを開設します。

【開設予定地】 西大井三丁目11番19号

【スケジュール】 令和4年12月 既存建物解体工事・整備工事着工
令和6年3月 工事竣工
令和6年4月1日 開設



外観イメージ

議案等審議

— 令和4年第3回定例会 —

品川区のこのようなことが 決まりました

会期30日間:令和4年10月27日~11月25日

今回審議した議案等は

区長提出議案…… 32件 議員提出議案…… 2件
各会計決算……… 5件 請願・陳情……… 32件
計71件

※ 上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介します。

令和5年4月1日から高校生等医療費助成制度を開始します

第82号議案 品川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

対象となる高校生等*が令和5年4月1日以降に受けた、保険診療による医療費の自己負担分と入院時食事療養標準負担額(食事代)を助成します。

※対象となる高校生等について

対象となる高校生等は、15歳の4月1日から18歳の3月31日までの間にある方で、**高校在学中か否かを問いません。**
ただし、高校生等が以下の状況にある時は、対象になりません。

- ①国民健康保険や健康保険など各種医療保険に加入していない場合
- ②生活保護を受けている場合
- ③児童福祉施設等に措置により入所している場合



申請について

申請方法は郵送です。12月下旬に、区から申請が必要な方へ申請書をお送りします。

*現在中学3年生で「子ども医療証」をお持ちの方は「申請不要」です。

詳しい内容は、広報しながわ12月21日号や品川区ホームページをご確認ください

委員会での質問

🗣️ 申込み漏れへの対応策について

A まず、住民基本台帳を基に対象の方へお知らせをお送りし、漏れがないような周知徹底に努め、引き続き対応を行っていく

議案番号	件名	結果	自民	公明	共産	イノベ	品改	ネット	維新	無所属議員(50音順)		
			(12)	(7)	(6)	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)
100	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(給与改定に関する改正)	可決	※1 ○	※1 ○	○	※1 ○	×	※1 ○	×	○	○	○
	令和3年度品川区一般会計歳入歳出決算	認定	※1 ○	※1 ○	×	※1 ○	○	※1 ○	○	○	○	○
	令和3年度品川区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	認定	※1 ○	※1 ○	×	※1 ○	○	※1 ×	○	○	○	○
	令和3年度品川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	※1 ○	※1 ○	×	※1 ○	○	※1 ○	○	○	○	○
	令和3年度品川区介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	※1 ○	※1 ○	×	※1 ○	○	※1 ○	○	○	○	○
議員提出3	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙における候補者の推薦について(渡辺裕一議員)	可決	※2 ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 (数字)は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。
 ※1…自民のうち1名は議長職務を行ったため、自民、公明、イノベ、ネットのうち1名は欠席のため、それぞれ議決には加わりませんでした。
 ※2…自民のうち1名は議長職務、2名は欠席、他の1名は自己に関する議案のため、議決には加わりませんでした。
 ●会派名は次の略語で記載しています。
 自民…品川区議会自民党 公明…品川区議会公明党 共産…日本共産党品川区議団 イノベ…イノベーションしながわ 品改…品川改革連合 ネット…品川・生活者ネットワーク 維新…品川区議会日本維新の会

選挙管理委員および選挙管理補充員の選挙を行いました

10月28日の本会議において、区議会議員による投票で次の各氏が品川区選挙管理委員および同補充員に選ばれました。

選挙管理委員 山路良成氏 塚本利光氏 鈴木雄二氏 稲川貴之氏
 同補充員 西元毅氏 中島美恵氏 広瀬正一氏 奥山晃氏

下記のとおり、東京都知事あてに意見書を提出しました

【議員提出第4号議案】

固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

一昨年より続く新型コロナウイルス感染症に加え、今年に入って顕著になった物価の高騰も大きく影響して、小規模事業者の経営は一層ひっ迫している。現状では、感染症、物価高騰とも未だ収束の兆しは見えず、今後も長期にわたり影響が続くことが予想される。

このような状況の中で、東京都が実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置」及び「商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置」は、厳しい経営環境下に置かれている小規模事業者にとっても、事業の継続や経営の健全化への大きな支えとなっている。

東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、小規模事業者の経営や生活は更に厳しいものになり、ひいては地域経済の活性化のみならず、日本経済の回復にも大きな影響を及ぼすことになりかねない。

よって、品川区議会は東京都に対し、下記の事項を令和5年度以降も継続するよう強く要望するものである。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を令和5年度以降も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和5年度以降も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和5年度以降も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年11月25日

品川区議会議長 本多 健信

議案・決算の議決結果

各議員の賛否はこちらのQRコードからご覧になれます→



全会一致で可決または認定したもの

議案番号	件名
69	令和4年度品川区一般会計補正予算(3ページに説明を掲載)
71	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
72	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
73	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例
74	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
75	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
76	職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例
77	品川区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
78	非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
79	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(定年延長に関する改正)
80	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
82	品川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(2ページに説明を掲載)
83	品川区立知的障害者グループホーム条例の一部を改正する条例(3ページに説明を掲載)
84	品川区立高齢者多世代交流支援施設条例の一部を改正する条例
85	品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
86	学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
87	学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(定年延長に関する改正)
88	学校教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例
89	学校教育職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
90	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
91	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(定年延長に関する改正)
92	(仮称)西大井三丁目障害者グループホーム新築その他工事請負契約
93	(仮称)北品川高齢者多世代交流支援施設新築工事請負契約
94	しながわ区民公園北側ゾーン改修工事(第二期)請負契約
95	会議テーブル他の買入れについて
96	ロッカー他の買入れについて
	令和3年度品川区災害復旧特別会計歳入歳出決算
議員提出4	固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

意見の分かれたもの

議案番号	件名	結果	自民	公明	共産	イノベ	品改	ネット	維新	無所属議員(50音順)		
			(12)	(7)	(6)	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)
70	品川区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	※1 ○	※1 ○	×	※1 ○	○	※1 ×	○	○	○	○
81	品川区立五反田産業文化施設条例	可決	※1 ○	※1 ○	×	※1 ○	○	※1 ○	○	○	○	○
97	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(給与改定に関する改正)	可決	※1 ○	※1 ○	○	※1 ○	×	※1 ○	×	○	○	○
98	会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	※1 ○	※1 ○	○	※1 ○	×	※1 ○	○	○	○	○
99	学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(給与改定に関する改正)	可決	※1 ○	※1 ○	○	※1 ○	×	※1 ○	×	○	○	○

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
建設委員会	電力不足と災害の無い街づくりに関する陳情	令和4年陳情第45号	不採択
	武蔵小山商店街の重要財産の処分についての決議の存在に関する陳情	令和4年陳情第46号	不採択
	建設委員会において再開発事業案件の公平・公正な取扱いを求める陳情	令和4年陳情第47号	不採択
	小山三丁目第一、第二地区再開発に関連する陳情	令和4年陳情第53号	不採択
文教委員会	品川区私立幼稚園保護者負担教育費の軽減に関する請願	令和4年請願第11号	採択
	区立小中学校の給食費の無償化を求める請願	令和4年請願第13号	不採択
	離婚等のこども養育支援にかかる陳情	令和2年陳情第47号	継続審査
	品川区立伊藤幼稚園の閉園までのスケジュール見直しに関する陳情	令和4年陳情第50号	不採択
	品川区立学校図書館をもっと充実させるための陳情	令和4年陳情第51号	不採択
議会運営委員会	現職区議会議員の立候補に関する条例の制定を求める陳情	令和4年陳情第52号	不採択

- 採 択**：区議会として、ご希望に賛同します。
- 趣旨採択**：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。
- 不 採 択**：区議会として、ご希望に賛同しかねます。
- 継続審査**：区議会として、引き続き慎重に審査します。

請願・陳情についての議事内容等が掲載された各付託委員会の会議録は、こちらのQRコードからご覧になれます



請願・陳情とは

区議会では、区政についての皆様のご要望やご意見を、請願や陳情としてお受けしています。本会議で採択した請願や陳情は、区長や教育委員会などの執行機関に送り、その実現に努力するよう求めます。

趣旨採択した陳情に対する区の対応について

二度目の障害者福祉課窓口対応に関する改善の陳情

「障害者福祉のしおり」(以下「しおり」という。)を区民の方にお渡しする際は、前年度からの主な変更点をまとめた文書(以下「文書」という。)を併せてご案内するよう、改めて職員に周知徹底をするとともに、「しおり」と「文書」をお渡ししている旨のご案内を窓口に表示しました。

陳情者に対しては、謝罪と併せてこれらの対応について文書にてご説明させていただきました。

その後、令和4年8月に発行した今年度版の「しおり」については、別刷の「文書」ではなく、冊子本体に前年度からの主な変更点を記載しております。

なお、携帯電話番号につきましては、陳情者が同時に行った手続の申請書に記載があった番号に、一連の申請・相談に応じた同一の職員がかけたものであり、個人情報適切に取り扱っております。

引き続き、窓口において区民の方にわかりやすい対応をするよう努めてまいります。

請願・陳情の審査結果

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
総務委員会	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	令和4年請願第9号	採択
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	令和4年請願第10号	採択
	「消費税5%減税とインボイス(適格請求書)実施中止を求める意見書」を国へ提出を求める請願	令和4年請願第12号	不採択
	品川区庁舎建て替えにあたり品川アリーナ新設を求める陳情	令和3年陳情第7号	継続審査
区民委員会	小学生以上の未成年者に模擬投票権を付与することおよび当該投票結果の公表を実施することを求める陳情	令和4年陳情第54号	不採択
	選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書を国に提出することを要望する請願	令和元年請願第21号	継続審査
厚生委員会	障害等のある区民に区役所の業務をワークシェアリングしてくださいに関する陳情	令和4年陳情第43号	不採択
	介護施設のコロナ対策に関する陳情	令和4年陳情第49号	不採択
建設委員会	障害者を「タックスイーター」と呼び切り捨てることのないよう、共生社会の実現を求める陳情	令和4年陳情第55号	不採択
	羽田増便による新都心飛行ルートの中止・撤回に関する請願	令和2年請願第3号	継続審査
	品川区議会が国に対し羽田新飛行ルートは早急に運用停止するよう意見書を提出することを求める請願	令和4年請願第14号	継続審査
	区議会決議を尊重して国交省に撤回を求めるよう区長に求める陳情	令和元年陳情第37号	継続審査
	羽田新飛行ルートの本格実施飛行の中止を、品川区から国交省に求めてくださいの陳情	令和2年陳情第21号	継続審査
	令和2年3月29日以降の「羽田新ルート」運用について「都心上空飛行ルート」の「海ルート」への変更を求めることについての陳情	令和2年陳情第22号	継続審査
	羽田空港国際線増便の目的消失による、新飛行経路の都心低空飛行停止を国に望む陳情	令和2年陳情第28号	継続審査
	羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情	令和4年陳情第4号	継続審査
	羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情	令和4年陳情第8号	継続審査
	コロナ禍のもとで羽田空港への外国人客が激減している中、都心ルートを一時凍結し、従来ルートにもどすことに関する陳情	令和4年陳情第9号	継続審査
	羽田空港への着陸航路について「新ルート」運用の一時停止を議会の総意として国土交通省に提言することを求める陳情	令和4年陳情第10号	継続審査
	羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情	令和4年陳情第11号	継続審査
	羽田増便による都心航路上の航空機から落下物が相次ぐ事態に関する陳情	令和4年陳情第21号	継続審査
	小山三丁目第一・第二地区市街地再開発に関する多並都市開発課長の変身と虚偽答弁を糾弾する陳情	令和4年陳情第44号	不採択

区政をきく (一般質問)

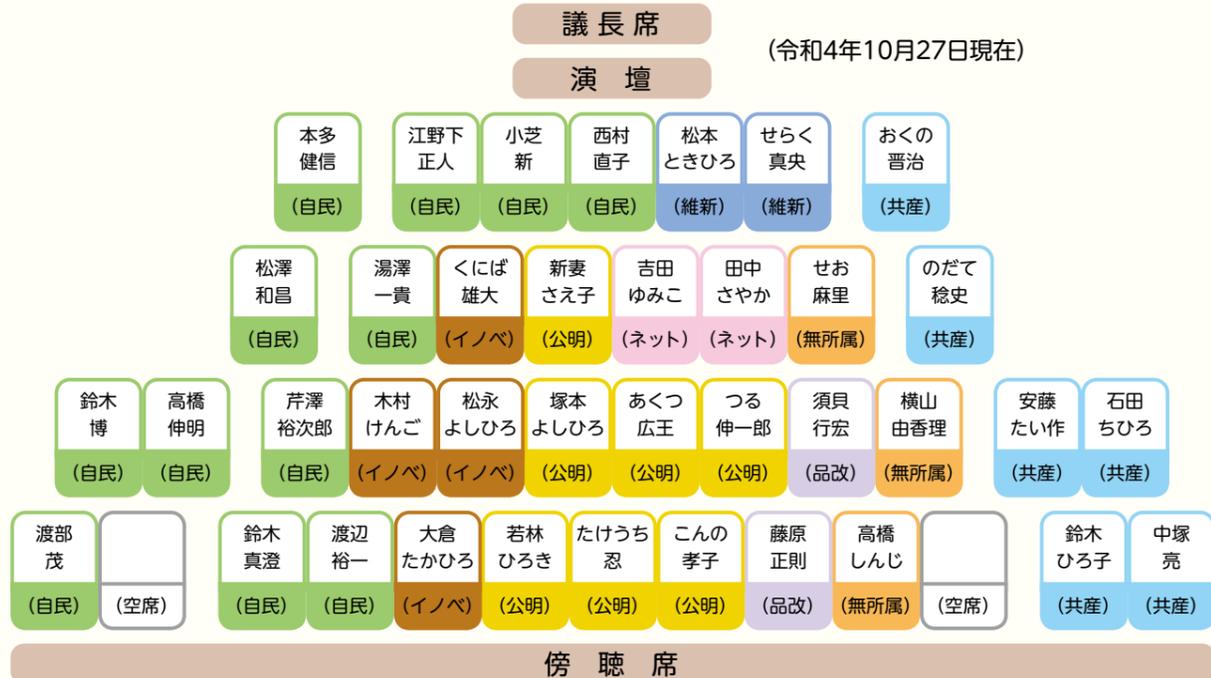
令和4年第3回定例会では、区政全般について、10名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

一般質問

湯澤 一貴	鈴木 一貴	松本 ときひろ	あくつ 広王	鈴木 博	10月28日(金)	高橋 しんじ	須貝 宏	安藤 たい作	新藤 さえ子	鈴木 真澄	10月27日(木)
議員(自民)	議員(自民)	議員(維新)	議員(公明)	議員(自民)		議員(無所属)	議員(品改)	議員(共産)	議員(公明)	議員(自民)	

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、令和2年第2回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。なお、演壇の消毒は適宜行っております。

本会議場の議席配置が変わりました



党派一覧	(自民) 品川区議会自民党	(公明) 品川区議会公明党	(共産) 日本共産党品川区議団
	(イノベ) イノベーションしながわ	(品改) 品川改革連合	(ネット) 品川・生活者ネットワーク
	(維新) 品川区議会日本維新の会	(無所属) 会派に属さない無所属の議員	

新しい議員が加わりました

●令和4年10月2日執行 補欠選挙



江野下 正人 50歳
自民
会社役員
荏原 3-5-12
03(6426)4572
◎ 文教委員会



松永 よしひろ 40歳
イノベ
区議会議員
南大井 1-13-16-1101
080(4956)5145
◎ 建設委員会



せらく 真央 31歳
維新
区議会議員
広町 2-1-36
区役所議会棟内 会派控室
080(7063)7723
◎ 総務委員会

●令和4年12月4日執行 補欠選挙

澤田 恵巳子 46歳・新・自民
いながき 孝子 55歳・新・ネット

*氏名の右は年齢、新旧の別、所属党派です。
*上記議員の写真・住所または事務所の所在地・電話番号は、1月発行予定の新年号に、所属委員会は2月発行予定の第4回定例会号に、それぞれ掲載予定です。

議員の離職について

石田秀男議員と西本たか子議員が9月25日付で区議会議員を離職しました。

※写真の右は、新旧の別(新=初当選の議員、元=過去に当選歴のある議員)、当選回数(今回の当選も1回に算入)です。氏名、年齢(当選日現在の満年齢)の下は、所属党派(略称)、職業、住所または事務所の所在地、電話番号です。◎は所属委員会です。

党派構成の変更について

- 会派届が提出され、以下の変更がありました。
- 10月3日付で「品川改革連合」からくにば雄大議員が脱退し、同会派の会派構成員は2名になりました。
- 10月4日付で「品川区議会自民党」に江野下正人議員が加入し、会派構成員は12名になりました。
- 10月4日付で「しながわ無所属クラブ」は、「イノベーションしながわ」と名称変更し、松永よしひろ議員とくにば雄大議員が加入して同会派の会派構成員は4名になりました。
- 10月4日付で松本ときひろ議員、せらく真央議員により「品川区議会日本維新の会」が新たに結成されました。

委員会構成の変更について

- 10月28日の本会議において、以下の変更がありました。
- 常任委員会(委員の選任)
総務委員会:せらく真央議員
建設委員会:松永よしひろ議員
文教委員会:江野下正人議員
- 議会運営委員会(委員の辞任・選任)
辞任:須貝行宏議員
選任:大倉たかひろ議員、高橋伸明議員
- 特別委員会(委員の選任)
行財政改革特別委員会:松本ときひろ議員

本会議・委員会の日程(予定)

令和4年第4回定例会本会議の会期は12月20日から1月12日までの24日間の会期で開催される予定です。

会議名	開催日時	
本会議	12月20日(火)午後1時 12月21日(水)午前10時 1月12日(木)午後1時	
常任委員会	総務	
	区民	
	厚生	12月22日(木)午前10時 12月23日(金)午前10時
	建設	
文教		
議会運営委員会	1月11日(水)午前10時30分	
特別委員会	行財政改革	12月26日(月)午前10時
	災害・環境対策	12月27日(火)午前10時

ケーブルテレビ 放送予定

本会議の一般質問の様子は、ケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送予定です。
放送予定日は以下のとおりです。

- 放送予定日
- 本会議(一般質問)
12月26日(月)~12月30日(金)(再放送)
12月31日(土)・1月1日(日)

*新型コロナウイルス感染症対策のため、議会を傍聴できる人数を制限しています。くわしくは区議会事務局までお問い合わせください。

*本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。また、本会議終了後おおむね1週間後に、インターネット録画中継でご覧いただけます。



鈴木真澄議員 (自民)



児童発達支援センターの初回相談状況、民間の事業所との連携、重症児や医療的ケアを必要とする対象者の受入れ体制は。

初回相談は9月末で5か月待ち、待機期間の解消を図る。事業所連絡会を実施する。可能な限り受入れに努め、療育の向上を図る。

区政運営について 決算特別委員会での、議会からの要望・提言をどのように捉えるか。

区民や団体からの意見や要望を踏まえたものであり、5年度予算編成に充分検討する。

5年度予算編成の考え方。長期基本計画の推進、感染症拡大防止、経済活動活性化を基本方針。

新庁舎設計プロポーザルには建築専門家など学識経験者の意見を。審査の前段階で学識経験者などから意見を聴く機会を確保する。

福祉について 共生社会実現に向けた整備体制を。事例を用い具体的な連携の仕組みを検討する推進会議を立ち上げた。

児童発達支援センターの初回相談状況、民間の事業所との連携、重症児や医療的ケアを必要とする対象者の受入れ体制は。

初回相談は9月末で5か月待ち、待機期間の解消を図る。事業所連絡会を実施する。可能な限り受入れに努め、療育の向上を図る。

環境問題について CO2排出量と削減取組みについて。再生可能エネルギーの導入促進やZEBの拡大などを取組み進める。

2050年ゼロカーボンシティ宣言を表明すべき。環境基本計画の中で検討している。

公共工事のスライド適用に当たって実情との乖離解決を。材料費を証明する書類を提出し難しい場合、代替書類でスライド額を算定できる対応も検討する。

契約変更の際は可能な限り最新の単価と比較を。単価の見直しを毎月実施。価格高騰に適切に対応する。

新妻ささ子議員 (公明)



の作成と周知を要望する。障がい者団体の意見を聞きながら、関係課連携の下、作成および周知について検討する。

高齢者が安心して暮らせる品川区について 予防効果が高いMCI（軽度認知障がい）の段階で、認知症の早期発見、早期対応につなげていく目的で行われている、「あたまの健康チェック」の導入を要望する。

新型コロナウイルス感染症等について 「品川区新型コロナウイルス相談ダイヤル」は、平日の午前9時から午後5時までの対応となっているが、人員不足で相談ダイヤルが機能しなくなることを防ぐためにも、相談ダイヤルの電話受付を自動応答化し、土日祝日、午後5時以降でも、自動音声で相談先の案内を聞くことができるよう提案する。

防災対策について 障がい者団体から声がある、障がい特性を踏まえた防災マニュアルに強化していく。

新型コロナウイルス相談ダイヤルについては、さらなる増員に加え、都の各種相談窓口適切に誘導する仕組みの導入など、体制をさらに強化していく。

多くのの方に歯科健診を受診してもらうことが重要。啓発チラシ等の工夫やSNS等を活用した周知など、効果的な情報発信を行うことにより、受診促進に努めていく。

男性へのHPVワクチン接種助成と带状疱疹ワクチン接種助成を要望する。ともに国の動向を注視していく。

須貝行宏議員 (品改)



るならその物価の値上がり分は国民ではなく国が負担するべきでは。金融政策については国の役割であり国会の場で議論すべき問題だ。区として円安による物価上昇分を国に請求する考えはありません。

首都直下大地震、見えてきた支援の限界。町会ごとの備蓄庫設置と地震保険加入を推進せよ

大規模地震が起きたら車両の通行路は遮断され、行政からの救助員の派遣や支援物資の輸送は出来なため、町会ごとに備蓄庫を設置して安心できる在宅避難の仕組みを構築するべきでは。

区民避難所に必要な物資を届ける支援体制を整備している。効果的な備蓄体制と確実な物流体制を整えていく。

地震が原因の火災や延焼した個人資産には火災保険は使えません。個人資産に対して、国・都・区は支援できないので、区民が地震保険に加入するように普及・啓発を強く推し進めるべきでは。

生活再建には有用であると紹介している。加入については個人が判断するものと考えています。

旧統一教会問題相談窓口の設置を

安藤たい作議員 (共産)



反社会的カルト集団・統一協会により区政が歪められることはあってはならない。区は調査と公表を

区はなぜ2020年4月1日以前を調査対象から外したのか。さらに遡って調査を行うことを求める。

東京都の調査期間を参考に設定したもので、さらに遡っての調査は予定していない。

品川区は一度も羽田新ルートの撤回を求めている。ごまかしの固定化回避でなく国に撤回を迫れ

区は、国に羽田新ルートの撤回を求めたことが一度でもあるのか。国に対しては、まずは賛成や反対ということではなく、区の求めに応じて設置された固定化回避検討会の結果を、早急に求める。

大崎西口駅前再開発は住民主体で抜本見直しを。マスタープランで

新妻ささ子議員 (公明)



の作成と周知を要望する。障がい者団体の意見を聞きながら、関係課連携の下、作成および周知について検討する。

高齢者が安心して暮らせる品川区について 予防効果が高いMCI（軽度認知障がい）の段階で、認知症の早期発見、早期対応につなげていく目的で行われている、「あたまの健康チェック」の導入を要望する。

新型コロナウイルス感染症等について 「品川区新型コロナウイルス相談ダイヤル」は、平日の午前9時から午後5時までの対応となっているが、人員不足で相談ダイヤルが機能しなくなることを防ぐためにも、相談ダイヤルの電話受付を自動応答化し、土日祝日、午後5時以降でも、自動音声で相談先の案内を聞くことができるよう提案する。

防災対策について 障がい者団体から声がある、障がい特性を踏まえた防災マニュアルに強化していく。

新型コロナウイルス相談ダイヤルについては、さらなる増員に加え、都の各種相談窓口適切に誘導する仕組みの導入など、体制をさらに強化していく。

多くの方に歯科健診を受診してもらうことが重要。啓発チラシ等の工夫やSNS等を活用した周知など、効果的な情報発信を行うことにより、受診促進に努めていく。

男性へのHPVワクチン接種助成と带状疱疹ワクチン接種助成を要望する。ともに国の動向を注視していく。

須貝行宏議員 (品改)



るならその物価の値上がり分は国民ではなく国が負担するべきでは。金融政策については国の役割であり国会の場で議論すべき問題だ。区として円安による物価上昇分を国に請求する考えはありません。

首都直下大地震、見えてきた支援の限界。町会ごとの備蓄庫設置と地震保険加入を推進せよ

大規模地震が起きたら車両の通行路は遮断され、行政からの救助員の派遣や支援物資の輸送は出来なため、町会ごとに備蓄庫を設置して安心できる在宅避難の仕組みを構築するべきでは。

区民避難所に必要な物資を届ける支援体制を整備している。効果的な備蓄体制と確実な物流体制を整えていく。

地震が原因の火災や延焼した個人資産には火災保険は使えません。個人資産に対して、国・都・区は支援できないので、区民が地震保険に加入するように普及・啓発を強く推し進めるべきでは。

生活再建には有用であると紹介している。加入については個人が判断するものと考えています。

旧統一教会問題相談窓口の設置を

品川区は一度も羽田新ルートの撤回を求めている。ごまかしの固定化回避でなく国に撤回を迫れ

高橋 しんじ 議員 (無所属)



区政運営

問 新区長決定後に新年度予算の区長査定をするが公約等を含めた新規事業はどれくらい盛り込めるのか。新区長の方針の下、培った健全財政を生かし、予算編成を進める。

教育・子ども施策

問 ①区内小中学校が「チーム学校」として取り組んだ成果は。②今後の就学前教育・保育のグランドデザインの方針を。③今年度私立保育園で学校心理士の巡回相談が始まった。成果と課題、来年度以降の見通し。④区立幼稚園3園の廃園が区の方針として示された。教育委員会では、報告はなされたが何らかの意思決定した形跡は見当たらない。区長に総合調整権があるといえども、区長部局の越権行為とも言える。教育委員会は、法

に定められた権限を行使すべき。意思決定のアプローチに課題があった。⑤副校長の勤務状況は、膨大な業務量で多忙を極める。さらなる業務軽減支援策を。

答 ①カウンセラーによる全員面談で、虐待が疑われたり、生命が危ぶまれるケースを発見し関係機関とつなぎ、状況が改善した。②培ってきた就学前教育・保育をさらに発展させ、各施設の有様も含め方針の策定を進める。③成果はコミュニケーションに課題があった園児が就学に向けて準備ができた等。課題は希望する全ての園で実施できていない。今後、巡回園を拡充し、全園対応の体制を目指す。④区長部局と教育委員会が連携し、総合的に検討を行った。区長部局の越権行為とは考えていない。教育委員会でも質疑応答などの議論を行い、了承した。⑤今年度より、2校で副校長補佐の任用を試行的に開始した。

(その他の質問)

・スポーツと地域
①スポーツコミッション設立を。②地域スポーツクラブの課題と解決策と区の支援は。



一般質問

あくつ 広王 議員 (公明)



ウクライナ避難民への支援強化について

問 避難民へのきめ細やかな支援メニューの拡充を求める。

答 子育て支援や就労のマッチング、体育施設の利用等を検討する。

認知症対策の更なる強化について

問 対策部署の強化、賠償責任保険など具体的な支援を盛り込んだ独自の認知症条例の策定を求める。

答 国や都、他自治体の動向を注視し、情報収集に努め、研究していく。

区立幼稚園の閉園・送迎バスの安全対策・学校給食の無償化など子育て施策について

問 閉園の方針決定に不安を感じている城南、浜川幼稚園の関係者に早く、丁寧な説明会の開催と分かりやすい説明の掲出を求める。

答 閉園スケジュールを検討する中で

鈴木 博 議員 (自民)



品川区の感染症対策について

問 今までの高齢者ワクチン接種体制の評価、これからの接種計画、接種の状況、関係施設との連携は。

答 高齢者の接種率は4回目73.8%等一定程度の接種が進んだ。次なる感染拡大に備え、オミクロン株対応ワクチン接種が重要だ。高齢者施設では、9月末よりオミクロン株対応ワクチン接種を既に開始するなど接種体制を確保している。

問 この夏、新型コロナウイルス感染症の流行が収束に向かい、世界的な人流の復活により南半球でインフルエンザが流行した。新型コロナウイルスとの関連も踏まえ、今シーズンのインフルエンザ対策は。

答 日本でも大きな流行の懸念があることから、インフルエンザワクチン定期予防接種対象者の自己負担分を無料とするなど、都や医師会等と連携・協力し、対応していく。性行為によってHPVをうつされる女性を子宮頸がんから守るという点で、男子へのHPVワクチンの接種は大きな意義を持つ。男性への接種費用助成を再度要望する。ワクチンが男性に拡大されてからの症例数が積み上がっていない。区として国の動向を注視していく。

品川区の子育て支援施策について

問 各地域のクリニックに小規模な病児保育所を併設し、併せて区内の基幹病院にセンター機能を持つ中核的な病児保育所を事業所内保育所と併設して開設し、このセンターで医療的ケアが必要な子どもも受け入れ、各病児保育施設の調整をするようなネットワーク構築を。

答 子ども・子育て支援事業計画における需要等を注視し検討していく。

品川区の教育について

問 子どもの読書離れが指摘されているが、現在の社会状況はますます読書の大切さを際立たせている。読書推進運動について説明を。

答 今後とも子ども読書活動推進計画の目的とする「本等を活用して、自ら主体的に思考し、行動する人に育つ」ことを目指していく。

一般質問

松本 ときひろ 議員 (維新)



概算事業費400億円以上の区役所建替え問題について

問 概算事業費の中には、備品更新費、移転費、現庁舎の解体工事費が含まれていないが費用の想定は。

答 社会情勢の様々な変動などから金額を示せる状況ではない。

問 区の財政負担を軽減する、子どもたちにつけを残さないという発想から、新庁舎整備は、現庁舎跡地に定期借地権を設定する、新庁舎に余剰床を設けて賃貸する、PFI方式を採用するなど、区の資産を活用して財源を確保することも、民間の発想を取り込んだ計画に見直すべき。

答 民間資金の活用に関しては、現在の敷地条件の下では課題が大きい。

小山、荏原地域から区役所、大井町地域へのバス路線整備について

問 武蔵小山駅から大井町駅へのバス路線について、区バス事業者に対する要望状況及びその回答は。

答 早期実施を事業者に求めた。令和5年3月末運行開始を目指し準備を進めている旨回答があった。

お金の使いみちを審査しました 令和3年度決算審査のあらましをお知らせします

10月28日の本会議において、決算特別委員会を設置し、令和3年度決算の審査を付託しました。

審議の結果、令和3年度各会計の決算はすべて認定すべきものと決定し、11月25日の本会議で認定しました。

決算の概要は下記をご覧ください。

決算特別委員会の構成は、以下のとおりです。



■ 委員長：渡部茂 ■ 副委員長：若林ひろき、安藤たい作

■ 理事：大倉たかひろ、須貝行宏、吉田ゆみこ、松本ときひろ ■ 委員：議長および議員選出監査委員を除く全議員

* 令和3年度決算に対する各会派の意見表明は16～17ページに、総括質疑は18ページに掲載しています。

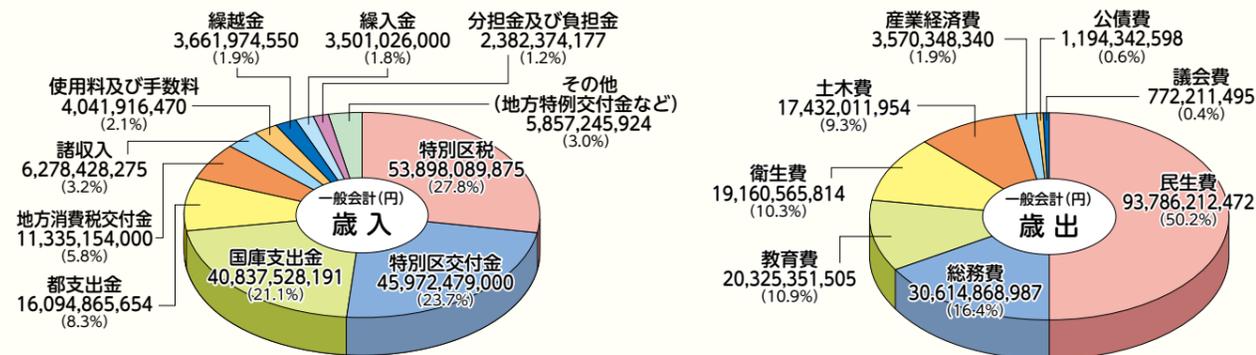
* 新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機の設置や窓を開けての換気を行い、委員および理事者すべての席にアクリル製飛沫防止パネルを設置しました。

令和3年度決算の概要

会計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰越
一般会計	1,938億6,108万2,116円	1,868億5,591万3,165円	70億516万8,951円
国民健康保険事業会計	367億2,752万4,769円	362億4,815万9,166円	4億7,936万5,603円
後期高齢者医療特別会計	87億9,827万4,617円	86億8,329万1,333円	1億1,498万3,284円
介護保険特別会計	265億8,599万4,246円	255億9,571万5,016円	9億9,027万9,230円
災害復旧特別会計*	0円	0円	0円

* 令和3年度は、事業の執行がなかったため、歳入決算額および歳出決算額はありませんでした。

令和3年度一般会計決算の内訳



決算とは

決算とは、1年間の収入および支出の見積(予算)に対して、実際の収入および支出の結果を明らかにしたものです。

区議会が行う決算審査は、区の予算が適法に目的どおり使われたか審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

一般質問

鈴木ひろ子 議員 (共産)



妊娠・出産費用、学校給食費、18歳までの国保料の無料化など、安心して子どもを産み育てられる経済的支援を

平均の出産費用までは自己負担がなくなる、出産助成金の制度創設を求める。

政府が令和5年度から出産育児一時金を増額するとの方針を示しており、その動向を注視する。

リプロダクティブ・ヘルス&ライツ(性と生殖の健康と権利)の保障を区の計画に位置づけ、具体化を

多くの区がリプロダクティブ・ヘルス&ライツを盛り込んだ行動計画を策定しているが、品川区のマ

イセルフ品川プランにもこの文言をしっかりと入れて、計画に位置づけていただきたい。

ルス/ライツの視点も踏まえ、女性の生涯を通じ、年代等に応じた健康づくりの支援を掲げている。

障害者福祉は、一人ひとりの人格が保障される支援へ、質量ともに抜本的に拡充を

いつまでにグループホームを設置するとの計画が必要では。

整備計画については、条件に合った土地の確保という課題がある。

港区は補聴器助成に当たり、補聴器専門医の診断や認定補聴器技能者による補聴器の調整等がされる。

助成制度が正しい補聴器装用へとつながるとは考えないのか。

医療機関や業界団体と連携して、補聴器に関する正しい知識の普及啓発を進めていくことが重要だ。

品川でもシールドマシンが壊れて工事ストップ。問題だらけのリニア新幹線は中止の決断を

未確立な技術の実験として品川を貫くリニア新幹線は、地盤を守るため今こそ中止を求めるべき。

事業者は、引き続き必要な安全対策を行い、区民の不安払拭に向けて丁寧に取り組むよう求めていく。

一般質問

湯澤一貴 議員 (自民)



地域振興について
公立学校全児童生徒への給食費無償化は本区においても実現すべき

国等の動きも踏まえながら、教育や子育て政策を今後考えていく中で総合的に判断していく。

町会・自治会へコンサル事業による伴走支援を手挙げ方式だけでなく、積極的に支援の手を。

今後積極的に各町会・自治会の課題を把握し、支援に努める。

町会・自治会のデジタル化を区が支援しながら進めていくべき。

デジタルデバイドに配慮しつつ、補助制度の活用を促していく。

防災について
被災時に混乱を避けるために避難所Wi-Fiの接続を訓練に。

ルーターの配備状況に応じて訓練での活用を検討。

他の自治体に先駆けメタバース導入による体験型避難訓練の実施を。新たな手法の活用も研究していく。

蓄電池やWi-Fi環境の確保、エレベーター内で閉じ込められた際に備えた防災チェアなどを希望する共同住宅には無償提供を。

共同住宅に対する防災資機材の設置支援についても研究する。

子育て・教育について
園児の安全と連れ去り防止、園にとってチェックの簡素化、ヒューマンエラーをなくす入室カード

機能を区立幼稚園にも導入を。

区立幼稚園については、今後のICT活用の中で検討する。

区内プロスポーツチームのコーチやOBで部活動の地域移行支援を。

音楽・芸術・科学といった文化系の部活に対しても、区内大学・専門学校等に協力をいただき専門性の高い地域移行を。

国のガイドライン等に基づいてこれからの検討の中で方針を具体化。

大人用紙おむつの処分について
国の交付金や助成金を活用し、環境に配慮した持続可能な取組を。

コストなど課題も引き続き検討する。(その他の質問)
・コロナによる心身への影響と対策

令和3年度決算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

各会計に対する各会派の賛否

会計	結果	自民	公明	共産	イノベ	品改	ネット	維新
一般会計	認定	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	認定	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	反対	賛成
後期高齢者医療特別会計	認定	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
介護保険特別会計	認定	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
災害復旧特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

イノベーションしながわ

令和3年度決算は、普通会計の実質収支は約69億円の黒字となり、経常収支比率は74.8%、人件費比率は13.5%と健全財政を維持していることを確認しました。

昨年度はオミクロン株による感染者数の急激な増加で企業活動の縮小等、区民生活と区内経済活動に大きく影響を与えました。その中で区は中小企業への新型コロナウイルス感染症特別助成や、キャッシュレス決済ポイント還元事業等、地域経済支援や区民の生活支援の取り組みを進めております。引き続き第8波への懸念もある中、今後も区民の安心安全のための施策を確実に実行していただくよう求めます。

併せて、AIやIoTなどの最先端技術の活用やデジタル化のさらなる推進、庁舎建て替え、羽田新飛行ルート問題、子育て支援の充実、福祉の充実、防災対策強化、学校教育の充実、地域経済の回復、環境対策の推進、オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用、多様性の推進など、各課題への積極的な取組も求めます。現代社会においては変化のスピードが速く、多様なニーズがあり、迅速かつ柔軟な対応策が必要です。こうした視点を持って取り組んでいただきますようお願い致します。

品川区議会自民党

令和3年度の一般会計は、実質収支は約69億円の黒字となり、単年度収支34億円、実質単年度収支90億円と健全財政を維持していることを評価いたします。コロナ禍、物価高が重なるなかであるからこそ、より一層の区民生活・福祉の維持向上に、さらに努められることを要望致します。

また、今決算特別委員会において、我が会派の委員より、区民の皆様や各種団体などから頂きました声をまとめ、たうえ、指摘、政策提言を致しました。ここで何点が取り上げます。

庁舎改築を含めた大井町周辺まちづくり、新型コロナウイルスワクチン接種の推進、子育て支援の拡充、デジタルデバイスを活用した町会情報発信支援、シニアプロモーション事業の拡充、認知症サポーターの充実、保健所機能強化、障害者グループホームの拡充、環境問題対策、感染症防止対策、過料を含むカラス・ハトへのエサやり防止の条例化、防災マンションの在り方、区民の憩いの場である緑道公園の在り方、自然災害以外も想定した避難訓練、子どもたちの体験学習を増やす取組の拡充、部活動支援など、令和5年度の品川区予算、事務事業に反映され、実現していただくことをお願いし、品川区議会自民党の意見表明と致します。

品川改革連合

令和3年度の一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の3つの特別会計の各決算を認定します。10月にコロナ感染は減少し観光、飲食、サービス業にも明るさが見えてきたものの、11月中旬からまた拡大しています。長いコロナの影響に加え、ウクライナ戦争や急激な円安などにより、所得や収入が増えない中で、光熱費や消費者物価と企業物価が高騰し、国民の家計と企業経営を直撃し、実質所得の低下と経営の悪化が進んでいます。このため国民は買い控えや節約により消費が減少、中小企業は資金が底をつき融資返済ができずリストラも限界となり、廃業や倒産が増える中、設備投資も減少していますので、区はその支援に一層取り組んで頂きたい。また今後もコロナの予防対策に努めると共に、介護・保育・看護従事者の低賃金の改善や、羽田新飛行ルートの変更を国に働きかけて頂きたい。そして地震保険の加入促進と高所得者には医療と介護保険料の負担を増やし、行き詰まる社会保障を支えるべきです。人類にエネルギーと食糧危機をもたらした上に残虐非道なロシアに対し、世界は国を守るウクライナを見捨てず、世界平和をぶち壊すプーチン政権を倒すべきです。

品川区議会公明党

令和3年度一般会計は、財政健全化判断比率も含め、また、各特別会計の決算状況も適正と認められました。3年度は、新型コロナ感染症の第4波から第6波が発生し、緊急事態措置等の合計が26日間となりました。この間開催された東京2020大会では、区内2会場で競技が行われた他、パラリンピック選手団の事前キャンプで小学生などが交流し、22名の選手がLGBTQを明かすなど、多様化・共生社会へ歩みを進める機会となりました。

一方、コロナ禍、不要不急の外出自粛、飲食店等の時短営業、イベントの開催制限などが要請され、区民生活、経済活動は多大な影響を受けた1年でした。公明党は、コロナ対策として6回の緊急要望を区長に行い、ワクチン集団・個別接種会場の拡充、予約支援、パルスオキシメーターの配布、スマホ教室拡充、生理の貧困対策、子育て世帯臨時特別給付金の10万円一括現金給付などが実施された他、各分野で公明党が推進した施策が行われました。

本委員会で提案等行ったコロナ関連対策、補聴器購入支援、妊娠期からの伴走型支援、学校給食無償化、おくやみコーナー設置、マイナンバーカード普及促進、物価高騰対策などを来年度予算等に反映させるよう求めます。

品川・生活者ネットワーク

感染拡大による医療逼迫に警戒が必要で、子どもの重症化リスク、後遺症のリスクを改めて市民と共有し、予防対策を呼びかけることや、感染した人が必要な医療情報に辿りつける区の情報発信の改善を早急に求めます。

税金が増えている中で、財政負担等を理由に区立単独幼稚園の閉園が進められています。子ども施策の縮小は、「子育てするなら品川区」を謳ってきた品川区や教育委員会の姿勢が問われます。子どもの権利条約を遵守した子ども施策の積極的な拡充を求めます。

新庁舎計画は、拙速に進めるべきではありません。新庁舎建設に関する費用負担が不透明なまま進めることには、区民の理解は到底得られません。障がい者当事者や家族の訴えが区の事業に反映されにくい現状があります。当事者の声に耳を傾けるべきです。

品川区と品川区議会が統一教会との関わりが無いことを示すには、遑々の調査と積極的な情報開示を行い、市民の信頼回復を目指す必要があります。マイナンバーカードの取得は任意です。取得義務化と健康保険証の廃止には反対。選択の権利保障が必要です。香害を含む化学物質の悪影響は、人間、動物、環境全体に及びます。予防原則をもって対応することを求めます。

日本共産党品川区議団

物価高騰が生活と営業を直撃、コロナ第8波が暗い影。しかし岸田自公政権は無為無策の上、75歳以上の医療費2倍化、インボイス、重拡に伴う増税論議など追い打ち。品川区政は「住民福祉の増進」との自治体の本旨に立ち、区民のくらしと命、営業を守るべき。超高層ビル・道路優先の一方、福祉を削減するため込まれた基金は93億円。区政の転換こそ必要。以下、要望する。▼コロナで疲弊する医療機関への経済的支援▼出産費用、学校給食、子どもの国保料の無料化▼区立幼稚園の閉園の中止▼特養・障害者施設の目標を持つ増設。地域に包括支援センターの設置。補聴器購入補助。ガイドヘルパーの養成。救急代理通報システムの無料化と対象拡大▼女性の性と生殖の健康と権利(リプロ)の計画への位置づけ。パートナースhip制度の実施▼住民追出しの再開は中止を▼新庁舎は建設予定地と跡地を一体に検討し、福祉施設を併設した中低層庁舎を▼子ども主体での校則の見直し。包括的性教育の実施。特別支援教育の区独自の教員配置。英語スピーキングテストの入試活用を中止を都に要望▼羽田新ルート「固定化回避検討」はごまかし。国に運用停止を求めよ▼統一協会との関係調査は2年半以前も遑って実施を。

品川区議会日本維新の会

品川区議会日本維新の会は、令和3年度各歳入歳出決算を認定いたします。本年度は新型コロナ禍もあり、区民税収を減らす他の特別区が少なくない中、品川区は前年度の1.7%増、形式収支は約70億円の黒字となりました。しかし、経常収支比率は3ポイント低下、健全財政は維持されているものの、将来的な財政の硬直化を防ぐためには行財政改革が課題です。

今回の決算では、区長公用車、保養所、特別職報酬等審議会、PPP/PPF手法導入の優先的検討規程などに関する指摘、提案を行いました。行財政改革により財源を生み出すことができれば、時代に合わせた区民サービスの向上を図ることが出来ます。すまいるスクールの給食提供、産後ケア事業の充実、学校トイレの洋式化、公園やコンテナ型喫煙所整備、終わりの見通せないコロナ禍対応、物価高エネルギー高による家計負担増に対する支援などやるべきことは沢山あります。弊会派の各委員の指摘、提案した点について、次年度の予算や今後の政策、施策、事業に反映していただくよう要望し、区が遂行する政策等については、評価検証、改善を徹底していただき、区民サービスの向上が図られることを求め、意見表明いたします。

特別委員会の活動 8月～11月

8月から11月末までの委員会の
主な活動は次のとおりです。

行財政改革特別委員会

- 8月23日 「行政のデジタル化に関すること」をテーマに、デジタルを活用した区民サービス・業務改革の取組状況について調査・研究
- 9月20日 「新庁舎に関すること」をテーマに、新庁舎整備に向けた進捗状況について調査・研究
- 11月2日 「新庁舎に関すること」をテーマに、新庁舎整備に向けた進捗状況について調査・研究
「行政のデジタル化に関すること」をテーマに、デジタルを活用した区民サービス・業務改革の取組状況について調査・研究



災害・環境対策特別委員会

- 8月24日 「環境に関すること」をテーマに、品川区環境基本計画中間見直し骨子案について調査・研究
報告1件(令和4年度東京都・品川区合同総合防災訓練(変更事項等))について質疑
- 9月21日 「清掃・リサイクルに関すること」をテーマに、第四次品川区一般廃棄物処理基本計画について調査・研究
報告2件(令和4年度ウォームビズキャンペーンの実施など)について質疑
- 11月4日 「環境に関すること」をテーマに、品川区環境基本計画中間見直しの素案に向けた検討状況について調査・研究
報告2件(令和4年度区内一斉防災訓練の実施など)について質疑

厚生委員会

- 8月22日 報告3件(令和4年度高齢者福祉行事など)について質疑
- 9月16日 報告5件(令和5年度分品川区立高齢者住宅(単身用)補欠登録者の募集など)について質疑
「がん対策について」をテーマに調査・研究
- 10月31日 議案審査(3件)、陳情審査(2件)
- 11月1日 報告3件(令和3年度指定管理者の管理に対するモニタリング・評価の結果など)について質疑
「認知症対策について」をテーマに調査・研究

建設委員会

- 8月22日 報告9件(しなバス試行運行の実施状況など)について質疑
- 9月16日 報告6件(源氏前公園・源氏前特定児童遊園改修工事など)について質疑
「治水対策について」をテーマに調査・研究
- 10月31日 請願・陳情審査(2件)
報告2件(品川区まちづくりマスタープラン改定に向けた検討状況など)について質疑
- 11月1日 報告7件(舟運社会実験など)について質疑
「自転車対策について」をテーマに調査・研究



コミュニティバス「しなバス」
※「しなバス」は、品川区の登録商標です

文教委員会

- 8月22日 報告4件(学校選択制の運用など)について質疑
- 9月16日 報告5件(令和3年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果など)について質疑
東大井保育園・児童センターを視察
「特別支援教育について」をテーマに調査・研究
- 10月31日 議案審査(9件)、請願・陳情審査(4件)
- 11月1日 報告8件(令和4年特別区および東京都人事委員会勧告など)について質疑
「ICT教育について」をテーマに調査・研究
- 11月25日 議案審査(2件)

常任委員会の活動 8月～11月

8月から11月末までの委員会の
主な活動は次のとおりです。

総務委員会

- 8月22日 報告4件(令和4年度都区財政調整交付金当初算定結果など)について質疑
- 9月16日 報告3件(旧第一日野小学校跡地の暫定活用など)について質疑
「職員の育成等について」をテーマに調査・研究
- 10月31日 議案審査(16件)、請願・陳情審査(4件)
- 11月1日 議案審査(1件)、報告8件(令和4年職員の給与等に関する報告及び勧告の概要など)について質疑
特別区競馬組合(大井競馬場)を視察
- 11月25日 議案審査(2件)

区民委員会

- 8月22日 報告4件(マイナンバーカード交付会場の拡大など)について質疑
「商店街の活性化について～商店街振興について～、～商店街におけるICT化の促進について～」をテーマに調査・研究
- 9月16日 報告2件(まちぐるみ文化イベントなど)について質疑
品川産業支援交流施設(SHIP)を視察
- 10月31日 議案審査(2件)
- 11月1日 報告2件(品川区中学生の主張大会など)について質疑
大井ホッケー競技場を視察



決算特別委員会

決算特別委員会は11月8日から22日のうちの計7日間にわたり令和3年度決算の審査を行いました。最終日の11月22日には、令和3年度決算について、各会派を代表して10人の委員が各会計歳入歳出決算の全般にわたり総括質疑を行いました。

その後、各会派より意見表明を行い、採決をしました。
(各会派の意見表明は16～17ページに掲載)
総括質疑における質問の要旨は、以下のとおりです。

〈総括質疑〉

松澤 和昌 委員(自民)

町会・自治会(助成金の可視化等)、児童センター、防災対策(デジタル技術活用の計画・方針の定め方等)について

鈴木 真澄 委員(自民)

こども基本法等(施行に伴う区の対応、組織等への反映等)、就学前教育、行政評価、予算(物価高対策等)について

つる 伸一郎 委員(公明)

新型コロナウイルス感染症の後遺症、子育て支援、学校給食費の無償化、サステナブルファッションショーについて

若林 ひろき 委員(公明)

決算の概況、認知症施策、妊娠から出産・育児への切れ目のない支援、屋外喫煙対策、学校施設老朽化等について

おくの 晋治 委員(共産)

羽田新飛行ルート(第3回定例会にて提出された請願第14号の区の受け止め等)、武蔵小山駅周辺の再開発について

鈴木 ひろ子 委員(共産)

障害者福祉(障害者権利条約等)、広町地区再開発・新庁舎整備(広町地区整備検討委託の概要等)について

木村 けんご 委員(イノベ)

災害復旧、獣医衛生手数料、人権啓発、区民保養所、歩行喫煙防止、スポーツの推進、特色ある教育活動等について

藤原 正則 委員(品改)

高齢者に関わる取組、介護人材の処遇改善、西大井駅周辺のまちづくり(再開発等)、基金の設置と運用について

吉田 ゆみこ 委員(ネット)

小山台住宅跡地(事業者選定における評価基準等)、リニア中央新幹線(JR東海から受けた説明内容等)について

松本 とさひろ 委員(維新)

新庁舎整備、監査委員・選挙管理委員の在り方(包括的外部監査導入の見解等)、区長公用車の概要について

品川女子学院 意見交換会(令和4年11月18日)

私立品川女子学院(北品川三丁目3番)において「課題解決に向けての意見交換会～品川区議会と品川女子学院生徒～」を行いました。品川女子学院生徒との意見交換会は、区議会を身近に感じ、関心を深めてもらうことを目的に開催され、今年で7回目となります。

今回は、「身の回りの課題」をテーマとし、「通学時の荷物の負担」「スマートフォンの危険性」などの課題の解決方法等について、生徒たちがグループごとにプレゼンテーションを行いました。続いて、議員(区民と議会の交流会議メンバー)がそれぞれのグループに入り、質問や助言を交えて生徒たちと意見交換をしました。



伊藤学園 職場体験(令和4年11月24日)

区立伊藤学園の8年生(中学2年生)2名が、職場体験で品川区議会を訪れました。この職場体験は、生徒が種々の職業を知ることにより勤労の意義や尊さについて学び、望ましい職業観や勤労観を養うことなどを目的とするものです。

今回は「1日区議会議員」をコンセプトとし、区民と議会の交流会議のメンバーが中心となって案内や説明等を行いました。

参加した生徒は、まず「就任式」で「1日区議会議員」を受任し、正副議長との懇談や議会運営委員会の傍聴、各会派控室の見学などを体験しました。続いて本会議場では、生徒が議員席に座り、議席マイクから区議会議員の仕事などに関する質問を行い、議員が回答するなど、質疑も体験しました。



次回の区議会だよりは新聞折り込みでお届けします

1月1日発行の区議会だよりは、例年新聞折り込みでお届けしています。

また、令和5年1月4日から11日までは品川区内の駅の広報スタンドにも置いてありますのでご利用ください。

なお、区議会だよりは区議会ホームページからもご覧いただけます。